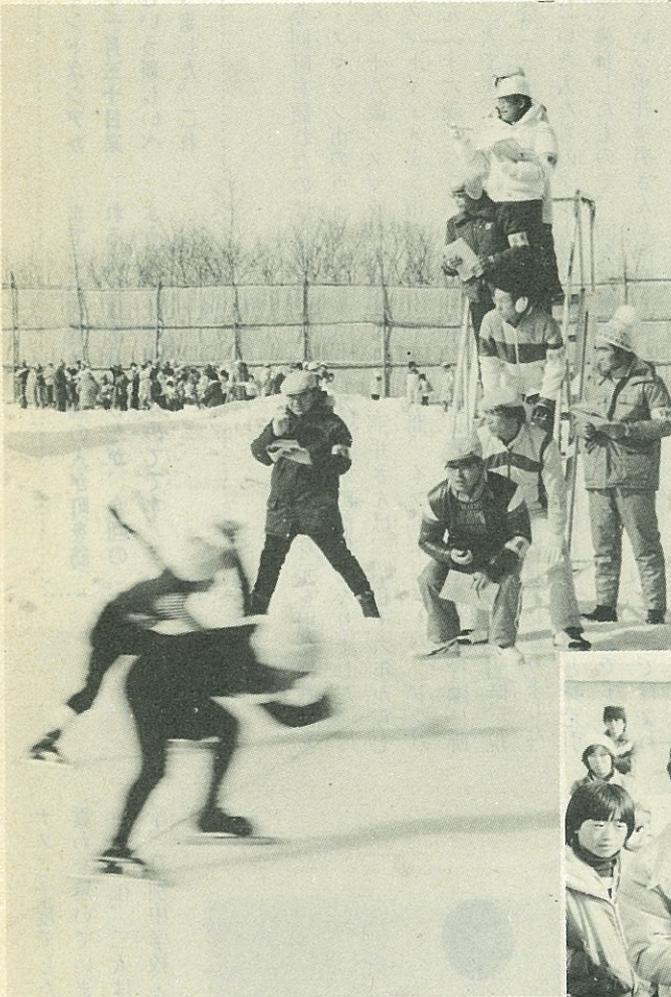


寒さなんか  
ふっとばせ!!

第11回全町スピードスケート選手権大会が2月8日町営リンクにおいて開かれました。



スタート!



○・一秒の差でゴールイン



リンクサイドには友だちやお父さんお母さんでいっぱい



優勝カップを胸に▶

# まぐび

昭和  
'81 (56年)

350

●発行・幕別町役場 幕別町本町130番地 ☎(01555) 4-2111  
●編集・町民課広報広聴係 ☎内線111 ●印刷・ソーゴ印刷

3

# 善大使が来町

—— 南国インドネシアより女子高校生2人

赤道直下の国、インドネシアから女子高校生二人が一月三十日來町、町の国際親善という新しいページに幕明けとなりました。これまでにも何回か外国の人が町を訪れることはありましたが、今回のような正式訪問は初めてです。



「ようこそ幕別町へ」と大石町長

一年を通しての最低気温が十八度という南国の二人に、寒さと見る雪は初めてのこと。大石町長から「朝の気温がマイ

今回町を訪れたのは、中部ジャワ・スマラン市のウイスチアーニさん（十八歳・スマラン高校三年）とスマトラ・メダンのヒルターさん（十六歳・ベラパン高校一年）の二人です。二人は、札幌ガルーダ会（太平洋戦争中、インドネシアにいた人たちのグループ）の招きで来日したもので、同会に所属している平井幸男さん（南町）が

今回の招待の身元を引受けたことから幕別町訪問となりました。平井さんは、昭和十六年から七年間、インドネシア・バンドンの旧日本陸軍第十七教育飛行隊に所属していたことがあり「当時、現地の人に大変お世話になりました。そのお礼になれば……」と身元引受人を申し出たとのことでした。二人は、インドネシアで行な

れた、英語コンテストに上位入賞し、招待の幸運をつかみました。

二人は、一月三十日午後三時に帯広空港に到着。平井さんの出迎えを受けたあと、役場に大石町長を訪れ、スマラン・メダン両市長のメッセージと市章を手渡しました。

ナス二十度でした。」と聞くと身を震わせ驚いていました。その後、二人は、日本舞踊の見学、幕別中学校・幕別高校の授業

を参観・スキー・スケートの体験など限られた四日間を楽しんでいました。



日本舞踊の手ほどきも受けました

## 幕別の印象は

### ●ウイスチアーニさん

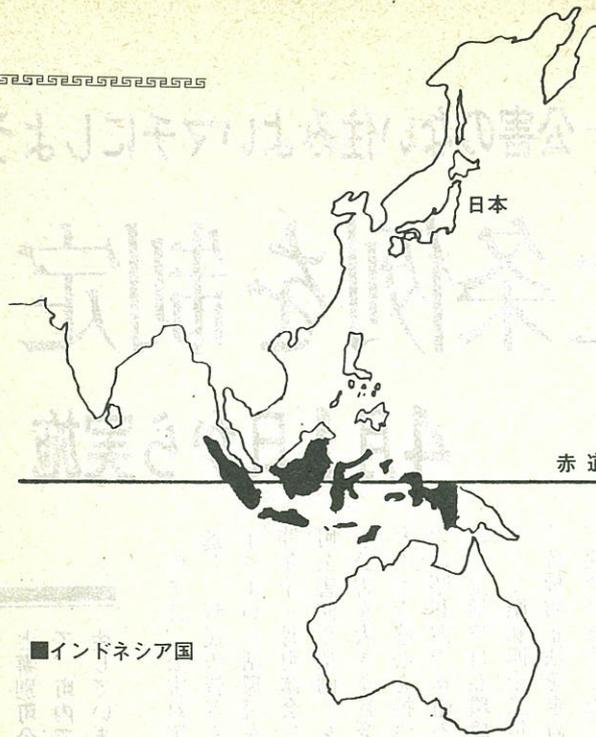
心温まる歓迎を受け感謝しています。幕別で過ごした四日間ほんとうによい思い出となりました。学校の授業方法はインドネシアとそんなに変わりませんが、一生懸命授業を受ける皆さんの姿が印象に残りました。帰ったら、幕別の思い出を友だちに話したい。

### ●ヒルターさん

温かい歓迎に感謝しています。「ふるさと館」を見学しました。幕別の昔を見ることができました。幕別はいま、こんなに発展している。そこには、多くの人の努力があつたのだなあと思います。インドネシアも、もっと努力しなければと思います。もう一度、家族で来たいと考えています。



# 小さな親



■インドネシア国

## インドネシアはこのような国

**位置**……インドネシアの中央を赤道が通り、まさに熱帯の国です。アジア大陸とオーストラリア大陸の間に位置しインド洋と太平洋とに面しています。1万3千の島々からなり、そのうち3千の島に1億4千万の人が住んでいます。

**気候**……一年は雨期と乾期に分かれ、その変り目ははっきりしていませんが、雨期は10月から3月、乾期は4月から9月となっています。平均気温は27度から30度です。

**言葉**……言葉は、インドネシア語です。英語は外国語のうちでもっとも広く用いられています。教育や観光にたずさわる人々は英語が話せます。

**お金**……インドネシアの通貨はルピアです。1ドル(米国ドル)が約620ルピアですから、日本の100円は約300ルピアです。

**食事**……インドネシア料理といっても各島、各地方で異なります。代表的な料理のメニューは、サテ(串焼き肉のピーナツソースあえ)、ガドガド(インドネシア風サラダ)ナシゴレン(焼メシ)などです。デザートはピサンゴレン(バナナの天ぷら)。

伝統的な食べ方としては右手の指を使います。

**生活**……一般的サラリーマンの給料は300ドルから400ドルです。日本と比べ2分の1ですが生活程度が低いともいえません。経済的には「物々交換」があり、物値は日本よりとても低いです。



幕別中学校では「さくら」を合唱



幕別高校では生徒会執行部と高校生活について懇談



立つのがやっとでした



ソリに乗って大はしゃぎ



けん玉に挑戦(ふるさと館で)

# 公害防止条例を制定

## 4月1日から実施



清らかな川、澄んだ空を守るのはあなたです

「公害を未然に防ぎ、住みよいマチにしよう」と幕別町公害防止条例を定めました。幸にして、町内では、いまのところ大きな公害は発生していません。快適な生活環境を維持する

ためには、町民一人ひとりの心がけが必要です。定められた条例のなから皆さんに関係のある部分をお知らせいたしますので住みよいマチづくりにご協力ください。

町では、公害対策を総合的に推進し、町民の皆さんの健康を守り、よりよい生活環境をつくるため、昨年十一月町議会において「幕別町公害防止条例」を定めました。

町条例は、国の法律や道の条例を町の地域性や特質に合せて、より具体的に定めたものです。町公害防止条例も国の公害対策基本法や各種防止法、北海道公害防止条例に基づき定められています。

らに検討し、次の特定施設においては、届け出を義務付けました。

畜産農業又はサービスマン業の用に供する施設で公共用水域に排出している豚房・牛房・馬房施設

公害を大きな社会問題として、私たちが感心を持つようになつたのは昭和四十年頃からです。国では、生活や自然環境の保全を目的として昭和四十二年に公害に関する各種防止法を定め、公害の防止に努めてきました。

町条例には、騒音やばい煙の濃度など「規制基準」は特に定められておりません。これは、国や道で定めた「基準」を適用しようというものです。

しかし、公害問題は都市化が進むなかで、いろいろな形で発生してきています。

公害を一人ひとりの心がけによつて防ぐことができるなら、町民みんなの努力で公害を未然に防ぎ住みよい生活環境をつくらうではありませんか。

すなわち、町内で豚・牛・馬を飼っている方で、その汚水などを公共用水域に排出している場合は総て該当しますので四月一日になりましたら役場総務部町民課交通防災係に届け出てください。

幸にして、幕別町内では、いまのところ大きな公害の発生はありませんが、将来的に発生する可能性は十分あるといえます。そのよなことから、公害を未然に防ごうと努めてきました。

そこで、定められた公害防止条例の中から町民の皆さんに関係する大切な部分をお知らせいたしますので、住みよい生活環境づくりにご協力ください。

なお、くわしくは、役場総務部町民課交通防災係へお問い合わせください。

### ■特定施設の届け出

一定規模の特定施設を持つ事業主は、国の法律及び道条例で届け出が義務付けられています。町では、この国の法律及び道条例をさ

生活障害行為とは、私たちの快適な日常生活が著しくそこなわれる行為をいいます。町公害防止条例では、快適な生活環境を守るため次のように定めています。

#### (夜間の静穏保持)

静穏な生活環境を維持するため夜間(午後十時から翌日の午前六時まで以下同じ。)において必要以上の音量を発生させないように努めなければならない。

#### (自動車の管理義務)

駐車場・車庫・路地・及び空地で夜間又は早朝(午

前六時から午前七時までの間をいう)において、自動車等のエンジンを始動させたまま放置するなどによってその周辺の静穏を害してはならない。

#### (焼却不適物等の焼却の制限)

住宅が密集している地域では、著しいばい煙、有害ガス又は悪臭を発生するおそれのある物を焼却してはならない。

#### (屋外作業の制限)

屋外での作業に当たっては、著しい騒音、振動、粉じん又は悪臭を発生させないように努めなければならない。

#### (農薬の使用及び処理)

農作物、森林その他の農産物を害する動植物の防除のために薬剤を使用し又は処理する者は、水質の汚濁、土壌の汚染などを生じさせないようにしなければならない。

### 用語の説明

公害……「公害」とは、事業活動、その他、人の活動に伴って生ずる相当範囲にわたる大気汚染・水質汚濁・土壌汚染・騒音・振動・地盤沈下及び悪臭によって人の健康又は生活環境に係る被害が生ずることをいいます。

特定施設……特定施設とは、工場又は事業場に設置される施設のうち、ばい煙、粉じん、汚水、廃液、騒音、振動又は悪臭を発生し排出し、又は飛散させる施設をいいます。

い。

② 農薬を水で希釈する場合は、農薬散布に係る機械器具を、河川等に直接入れてはならない。

③ 農薬散布に使用した機械器具を洗浄する場合は、河川等において直接洗浄し、又は洗浄後の水を

河川等に流入してはならない。

④ 農薬の空ビン、空袋等については、町長の計画する廃棄物収集の日まで、厳重に保管しなければならぬ。

(畜舎の管理)  
の畜舎及びその附帯施設を整備す

## 万一に備え町民交通傷害保険に加入しよう

# 未加入者に多い事故

## 三月一日から受付

で、三月二日から役場町民課交通防災係・札内支所・糠内駒島各出張所で受付しています。

保険料は、一年分一口四百八十円で途中申込みの場合は月割(四十円)となります。また、一人二口まで加入することができ保険料は九百六十円です。

保険金の給付(支払われる)対象は、日本国内において車輛(電車・汽車・モノレール・自動車・モーターバイク・自転車・荷車など)に乗っていて、衝突したり、

つい落、てん覆したりした事故、または、歩いていてこれら車両にはねられたり、ひかれたりした事故です。ただし、航空機、船舶などによる事故は対象となりません。

この町民交通傷害保険は、幕別に住んでいる方、または幕別町内へ通勤・通学されている方なら、どなたでも加入することができます。

保険期間は四月一日から一年間

るとともに、常に衛生的な管理を行ない、汚物、汚水等の処理に当たっては、水質の汚濁、悪臭等を生じさせないようにしなければならぬ。

われる保険金は次の通りで、二口加入の方には倍額支払われます。■亡くなられたとき(事故にあ

## 北海道善行賞を受賞

小川邦正さん(古舞)が、日頃の交通安全に対する功績により、北海道知事から北海道善行賞を受賞しました。

小川さんは、二十一年間の長きにわたり町交通安全協会の理事として会の発展に努められ、また、自からも安全運転(無事故、無違反)を行ない他の運転者の模範となり交通安全に貢献されてこられました。

表彰状を手にする小川さん



古舞・小川邦正さん  
した。町交通安全協会からは初めての受賞です。

- つた日から百八十日以内にその傷害がもつて)……………八十万円
  - けがをして、失明したり片手または片足を失なったときなど(死亡の場合と同じ)……………五十万円
  - けがをして、医師の治療を受けた期間が
  - 六カ月以上……………十二万円
  - 五カ月以上六カ月未満……………九万円
  - 四カ月以上五カ月未満……………七万円
  - 三カ月以上四カ月未満……………五万円
  - 二カ月以上三カ月未満……………三万円
  - 一カ月以上二カ月未満……………二万円
  - 一週間以上一カ月未満……………一万円
  - 一週間未満……………五千元
- 昨年、幕別町内で起きた交通事故は六十八件、一人が亡くなり、九十九人の方がけがをしています。ところが、交通傷害保険の保険料支払い請求は九件となっており、

**路上駐車は やめよう!**

最近、市街地や団地内で長時間にわたる路上駐車が非常に目につきます。

路上駐車は、道路交通法において、駐車禁止区間以外でも昼間は十二時間、夜間は八時間以上の駐車は禁止されています。

また、三月は例年大雪が降りますが、路上駐車があると除雪の障害となりみんなが迷惑します。さらに火事など災害の発生にも対応が遅れることも考えられます。

路上駐車はやめるようにしましょう。

交通傷害保険に加入していない方の事故が多いようです。

万一の場合を考え、家族そろって交通傷害保険に加入するようにしましょう。

なお、加入にあたって不明の点や、事故にあったときは、ただちに役場町民課交通防災係にお申し出ください。

☎ 四一二二二一・内線一〇七

# 糖尿病にご用心

成人病とは、脳卒中・ガン・心臓疾患・慢性肺疾患・糖尿病・腎臓病などをいい、主に四十歳以上に見られる病気で、最近では、死亡または疾病受診の上位を占めるようになっていきます。



講演会には50人の人が出席

特に糖尿病は、食生活の欧米化とともに増加の傾向にあり、その数は百人に一人と言われています。このようなことから、町では、二月十二日に糖尿病予防と食生活

についての講演会を町民健康センターにおいて開きました。

講演会での話しを中心に、糖尿病について皆さんと考えてみたいと思います。

## 早期発見・早期治療が大切

糖尿病とは、すい臓から出るホルモン(インシュリン)の働きが悪くなって、そのホルモンの助けを

借りて活躍していた糖質が血液中に残って、尿の中に出てくる病気で

す。糖尿病になると、①のどが渇く、体がだるく疲れやすい ②甘いものを欲がり、満腹感がなくなる。

③やせてくる ④尿量が増えてく

る ⑤目がかすんだり、しょぼついたりするなど症状が現われます。

初期であれば、食事療法ですみますが、症状が進みますと薬を必要とし長期治療となります。また感染症や視覚障害など合併症を併発することがあり早期発見、早期治療が大切です。

糖尿病は、尿検査で知ることができ、体に異常を感じたらすぐに病院で検査を受けるようにし

## 予防は食生活の見直しから

糖尿病の予防は、まず、日常の食生活の見直しにあります。次のような点に注意しましょう。①穀類(ごはん、パン、麺類)や砂糖と砂糖を多く使った菓子類をとりすぎない ②甘味の多い果物に注意 ③魚、肉、卵、大豆製品を毎日食べる ④牛乳を毎日一本から二本は飲む ⑤野菜をたくさん食

## 障害者にも無限の可能性がある

北海道身体障害者福祉協会十勝支部

幕別分会長 橋本 俊光さん



ことしは、「国際障害者年」。全世界の人が「障害を持つ人の社会への完全参加と平等」をテーマに障害者のため行動を起してくれ

る。私たち障害を持つ者にとつて

こんなうれしいことはありません。

昔、障害を持つものは、バカにされ、人並みに扱ってもらえな

かった。でも、私は、ハンディという言葉は、障害者も健常者もみんなが持っている言葉ではないだ

いるのか」と問いたい。障害者にだってできることはある。みんな

ろうかと思う。たとえば、競走をして早い人もいれば遅い人もいる

とを知らなければならない。そして、障害者も健常者もお互いに

いま、障害者が一番社会に望んでいることは「働ける職場」がほ

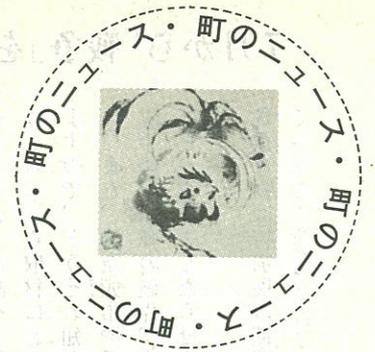
に知り合う、理解し合う、助け合うことから、障害者福祉を考えて

しいことではないだろうか。障害を持つ者はたしかに労働の効率は悪いかもしれない。でも、一生懸命働いていることを理解してほしいと思います。

最後に、この「国際障害者年」が、ことし限りで終るのではなく来年も再来年も続いてくれることを願います。

四一二六五七

また、「町民健康センター」では、成人病の相談を行なっています。ぜひ、ご利用ください。



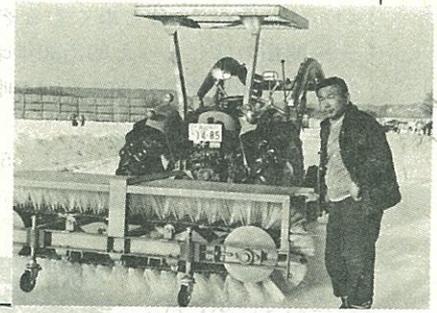
## 寄付者のお名前



●旭町第一公区で料理講習会  
旭町第二公区（白石秀夫公区長）の婦人部で料理講習会を2月15日、旭町近隣センターにおいて行いました。その後、お年寄り11名を招き、料理講習会でつくった料理で夕食会を開き楽しいひとときを過ごしました。



●清掃機械を考案  
寿町の田村征治さんがスケートリンクの雪を清掃する機械を考案。2月8日町営リンクで開かれた第11回全町スケート選手権大会で試運転。大会関係者から「大変助かります」と喜ばれていました。



●寒修業の浄財を社会福祉に寄付  
大和講真隆寺支部（支部長長谷川隆憲、会員14名）が結成されて初めての寒修業を行ない、その浄財を社会福祉に使ってほしいと町へ寄付しました。



●下の句帯広大会で優勝  
幕別カルタ同好会（吹雪クラブ・大上長治会長）が一月二十四・二十五日芽室町で行われた「全日本下の句カルタ帯広大会」において優勝しました。同クラブは、これまでも道東大会など数多くの大会で優勝しております。

町のニュースでは、公区や学校・サークルのいろいろな活動を紹介しています。皆さんの周りの出来事をお知らせください。  
(四一二二・内線一一)

## 笹原さんに 紺綬褒章

笹原登さん（錦町）から幕別消防署へ町消防施設の整備に役立ててほしいと二百万円の寄付があり、これに対する紺綬褒章の伝達式が二月二十日町長室において行なわれました。



▲大石町長から紺綬褒章を受ける笹原さん

二月号で消防団の表彰をお知らせいたしました。が、次の皆さんも表彰されました。

●北海道消防協会表彰  
▽功績章 中條正一（第一分団部長） 折笠清（同） 館昌利（第三分団部長）

●北海道消防協会十勝支部表彰  
▽十五年勤続 新田勝治（第三分団部長） 高島靖博（同・班長）

町へ：  
▽森脇登さん（寿町）から子どものはく製一頭  
▽町社会福祉協議会へ：  
▽多田充さん（明野）から母が生前お世話になりましたと三万円  
▽匿名の方から千円  
●老人クラブ・寿会へ：  
▽明野新川老人クラブへ坂本博さん（新川）から一万円、加藤照

正さん（明野）から一万円、久保貢さん（明野）から一万円、多田充さん（明野）から三万円、▽幕別老人クラブへ大和講幕別支部代表岡田賢子）から二万円、▽宝町老人クラブへ大和講幕別支部から一万円、山本甚蔵さん（宝町）から一万円、▽旭町老人クラブへ大和講幕別支部から一万円、▽軍岡老人クラブへ大和講幕別支部から二万円、▽札内寿会へ篠原博さん（千住）から五万円、山田アヤ

ん（札内豊町）から一万円、▽札内鉄南老人クラブへ十勝民謡友の会仲良し会から一万円、▽稲志別老人クラブ明寿会へ村上新太郎さん（新生）から一万五千元  
●札内あかしや学級へ……  
▽糠内とり年会（代表箕浦真）から三万円  
●十勝愛育園へ：  
▽幕別町青年団体連絡協議会（谷池田清会長）からチャリティ映画の益金で卓上オルガン二台

# 資料と情報大募集

## 7月から「戦争」をテーマに特別展

いま、ふるさと館では戦争に関する資料や情報を集めています。私たちの町・幕別にも第二次世界大戦は暗い傷跡を残しました。爆弾や機銃掃射から逃げ惑った経験のある人もいることと思います。戦争が幕別の人々のくらしにどんな影響を与えたのか、どんな被害があったのかを記録にとどめ、当時のようすをふり返る特別展を計画しています。

空襲を目撃、体験した時のようす、町内会や部落組織、軍需工場や衣食住の思い出、供出、配給制度など、戦争にまつわる話をお知らせください。電話や手紙、あるいはこちらから取材におうかがいします。また、防空頭巾や千人針、軍隊手帳、爆弾の破片、当時の写真などがありましたらぜひ譲ってください。

貴重な物は特別展の期間中、貸していただけでもけっこうです。



幕別町ふるさと館

〒089-05 幕別町字依田384-3 ☎(01555)6-3117  
AM9:30→PM6:00 毎週火曜日休館



館内の体験室に実際に使える機織り機を置きました。以前から展示はしてありましたが、飾っておくだけでなく修理して動かしてみようと、寄贈してくれた菅野ハルさん（弘和・八十一歳）の話を聞きながらスタッフが組み立てました。

二月十五日からご希望のみなさんに機織りを体験してもらっています。動かした経験のない人にはお教えします。ちよっとしたコツさえ覚えると、だれでもできます。約一世紀前の機織り機を「ボタン、ボタン」と動かしながら、衣類が自給自足だったころのようすを思い浮かべてみるのも、また新しいふるさと館の楽しみかたです。

はたお  
機織りを  
やってみませんか

「さあー、味噌汁ができたぞ。腹いっぱい食べろ。体もぬくもるぞ」——開拓のはじまった明治30年頃味噌汁は開拓地の人々にとって唯一の美味しいお菜だった。

明治39年の幕別村の人口は、5,818人。洞寒村（池田町）7千余人の次で、帯広町は4千余で三位だった。その頃、醤油製造業1件の記録があるが、名前も場所もわからない。

明治末頃、加藤唯蔵が白人（現在の千住）で味噌・醤油の醸造を始めた。今日まで続いている加藤みそ正油醸造店である。ここ数年来は大阪へも販売している。

大正6年、止若（現在の幕別市街）で清水藤次郎が醸造を始めた。現在の清水醸造合資会社である。初代、藤次郎は岩手県で酒造店の杜氏を、北海道へ来てからも旭川や芽室の味噌・醤油屋で杜氏をしていた。二代目・長三郎は岩手県の草相撲で名うての力士だった。幕別へ来てからも村祭りや相撲をとっていたので、覚えている人も

多いはず。（四股名は岩手山）

昭和5年、札内中央町の現住地で吉村源之丞が糴の製造も加えて吉村醸造店を開いた。あとを継いだ昌樹の出征のため一時廃業したが、戦後再開業した。42年からは千枝夫人が引き継ぎ、女手ひとつ

で、見よう見まねで覚えた味噌・醤油から糴の製造まで、昔のままの手作りの仕事はつづけられている。

大正9年に札内

では辻源作、昭和8年に止若で田井味噌醸造所が営まれたが、いずれも戦時中の原料不足で廃業した。

### 幕別 ものがたり ●連載 第14回

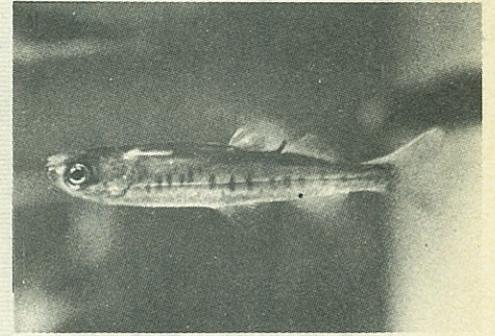
#### (5) 製造業の夜明け(その1)

		みそ (1kg)	しょうゆ (1.8ℓ)
明治30年	幕別	10 銭	36 銭
	東京	7 銭	20 銭
昭和56年	幕別	280円	300円
昭和54年	東京	289円	499円

(相沢和子・記)

## サーモン 通信 ⑤

撮影＝井上和敏



2月24日で、ふ化から80日たちました。稚魚は先月のこのコーナーに書いた時よりも1cm以上大きくなり、体長が5cmを超えました。

昨年12月初めにふ化した時に、早いと遅いのでは1週間くらい幅がありました。そのため、自分で餌を食べ始める時期にも差がでてきますから、同じ親ザケから生まれた稚魚でも体長に1～2cmの違いがあります。大きいのはそろそろサケらしさを感じさせますが、3cmくらいの稚魚は体高（腹から背までの厚み）が低く、ひ弱に見えます。

水槽の中では、成長の早いのが上を泳ぎ、底にいくにしたがって小さな稚魚が泳いでいます。